



# رواية الحرة



烏越敦司 atushi torigoe





「てれよリ」  
副大統領は発言する。 و نائب الرئيس في الكلام.  
「日本のやつらも、大統領が、まさか宇宙人だなんて思ってもないでしょうねえ」  
حتى لم أفكر رئيس الغربية نانت و.  
「ああ、彼らの頭には輸出しかないからなあ」  
أجاب الرئيس، ضحك.  
「しかし、わたしを受け入れた君達は賢明だったよ」  
« حتى نحن. نحن، لأنني أعتقد أنني لا يمكن الفوز على الآخر في اليابان.»  
副大統領は述べた。 قال تكسر، نائب الرئيس.  
「まあ、日本が、いくらがんばろうと我々の星の文明には、とても及ばんよ。現に」  
الحضارة تحاول أصعب بكثير هو Oyoban'yo، جدا. في الواقع....  
と、話して大統領はニヤリと笑った。 و، الرئيس يتحدث ضحك مبتسما.  
「あの中国の軍事ロボットも、ここホワイトハウスで操作してただけだし、核の雲を消す爆弾も我々の星のものさ」  
وأضاف « هذا الروبوتات العسكرية الصينية، لأنني اعمل هنا في البيت الأبيض، تلك القنبلة لإيقاف نواة الغيوم من نجمنا.»  
「大統領、世界はやはり我々アメリカのものですね」  
الرئيس، والعالم لا يزال ما نحن في الولايات المتحدة.  
と発言してCIA長官が立ち上がった。  
« أنا لذلك أيضا. وفي محاولة لنخب.»  
と述べて大統領はグラスを取った。  
« وفي اليوم إلى شن حرب نووية على اليابان.»  
«هتاف!»  
「乾杯」  
アメリカ合衆国首脳一同はグラスを合わせた。  
الولايات المتحدة قمة الجميع هو مزيج من الزجاج.

### 首脳な日本の無口な قمة اليابان متحفظا

時の首相は大変な無口で知られた人だった。 وكان رئيس الوزراء في ذلك الوقت هو الذي كان معروفا لقليل الكلام جدا. 長い文章。 الجملة طويلة لا يبدو الكلام.

「首相、大変です。今度は本当の核が」  
رئيس الوزراء، جدا. الآن نواة حقيقية....  
首相官邸にいた、わたしに、防衛大臣が電話してきた。  
« إخلاء فوراً!»  
「すぐ避難を」

その後の電話の末に、わたしは地下の核シェルターへ逃げた  
بق السفلي. 十分後、日本の首脳は皆、核シェルターに集まった。 بعد بما فيه الكفاية، واجتمع زعماء اليابان

كل في الملحأ النووي.  
「首相、どうします？」  
رئيس الوزراء، هل تفعل؟  
日本の首脳一同は、異口同音で聞いた。  
« نحن فقط لا يمكنني Ikinobire. وهو جد الفوز هو ليس كذلك.»  
« مرة واحدة، أجببت.»  
«...そんな」  
وأضاف «هنا....»  
首脳一同が、そう嘆くのを、わたしは上の空で聞いていた。  
« لأن هذا هو، لأن أنا روبوت الأمريكية الصنع....»  
なぜなら

## رواية الحرة

<http://p.booklog.jp/book/106313>

著者：鳥越敦司 atushi torigoe

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/dontanine/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/106313>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/106313>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ